

果物を食べると口がかゆくなる 私って食物アレルギー？



教育・保育現場では「食物アレルギーの子ども」への対応が迫られています。
一方で、食物アレルギーは子どものみならず、大人にとっても問題になります。
一緒に食物アレルギーの正しい知識を学びませんか？

Food Allergyセミナー

7月21日(日) 13:00~16:00

オンライン100名 会場20名 (TKP千葉駅東ロビジネスセンター
会議室 カンファレンスルーム3E)

Zoomウェビナー

受講料

社会人 3,000円

資料はダウンロード

学生 1,500円

お申込み
問い合わせ

NPO法人千葉アレルギーネットワーク

info@chiba-allergynet.jp

http://www.chiba-allergynet.jp/

070-5019-3998 (平日:10:00~17:00)

受講証明書
発行

見逃し配信
あり



申込フォーム peatix

セミナー内容の詳細は裏面を確認してください

後援:千葉県・千葉県教育委員会・千葉市・千葉市教育委員会・千葉大学医学部附属病院アレルギーセンター
千葉県小児科医会・一般社団法人 日本保育保健協議会

Food Allergyセミナー

13:00～13:03	理事長 挨拶	下条 直樹先生
13:04～13:19	花粉症の重症化ゼロを目指して	米倉 修二先生
13:20～14:10	食物アレルギーの基本を学ぼう	森田 慶紀先生
14:15～15:05	アレルギーの食事対応ポイント	原 正美先生
15:10～16:00	アレルギー症状がでたらどうするの？ ～誰でもできる救急対応～	井上 祐三朗先生

米倉 修二先生

千葉大学附属病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科



スギ花粉症は現在、国民の3割が悩んでいる国民病です。耳鼻咽喉科では「花粉症重症化ゼロ作戦」と称したキャンペーンを推進中で、2030年までの重症化ゼロを目指しています。本セミナーでは、抗原回避から治療まで、基本的な対応をわかりやすく解説します。

井上 祐三朗先生

千葉大学大学院医学研究院総合医科学 特任准教授



食物アレルギーでは、時に血圧低下や意識消失などの重いアレルギー症状が起こることがあります。私は気をつけているから絶対大丈夫？いえいえ、誰しも間違えることはあるんです。お子さんが、食物アレルギーの症状が出てしまった時に、慌てず焦らず、救急対応をするための基礎知識をお話したいと思います。

森田 慶紀先生

イムス記念病院 小児科



園における「食物アレルギーの対応」はとても大切なものです。一方で「なぜ？」「どうすれば？」と思うこともあるのではないのでしょうか？本セミナーを通じて、食物アレルギーのことをよく知り、現場で役立ててください。

理事長

下条 直樹先生

千葉大学予防医学センター 特任教授
千葉大学附属病院アレルギーセンター客員教授



食物アレルギーへの適切な対応には、患者家族会、医療関係者、栄養士、学校関係者などの連携を構築し、エビデンスに基づく最新の情報を伝えていくことが必要です。そこで、食物アレルギーの患者さんに関わる人々が集まり千葉アレルギーネットワークを設立しました。皆さんの受講をお待ちしております。

原 正美先生

昭和女子大学大学院 女性健康科学研究所客員研究員
京都光華女子大学 健康科学部 教授



食物アレルギーは現場における理解と適切な対応が必要です。原因食品、分かりにくいアレルゲン表示の理解、使える調味料、生活管理指導表の活用、誤配膳リスクの低減などをお話します。次世代の皆様の気づきにも繋がることを願っています。受講証もご活用ください。

<受講証明書>

忙しい社会人にも好評!

修了条件: 全講座を受講後確認テスト提出。受講証明書が授与されます。

